

2012年度 早稲田大学派遣留学 交換・TSA・ISAプログラム 前期募集要項 早稲田大学 留学センター

概要

- 今期の募集対象校の最新情報は、2012年度派遣対象留学先大学・プログラムリスト (http://www.cie-waseda.jp/studyabroad/menu_left/schedule/invitation.html)にてご確認ください。
- 留学期間は、1学年期間と半期のプログラムがあります。半期プログラムで留学をした場合、前期もしくは後期の半期間、海外の大学で学ぶこととなります。1セメスターのみの短期集中型留学プログラムとなりますので、出発前の準備が非常に重要となります。1学年期間の留学が必修となっている国際教養学部の学生は、半期プログラムを修了してもこの要件を満たしませんので、応募に際しては、学部事務所担当者によく相談してください。
- 韓国の高麗大は、2011年10月にも募集を行います（出発は、2012年の後期となります）。
- アメリカのPortland State University (TSA) は、テーマと出発時期が異なる2種類のプログラムがあります。
今回の募集テーマ: Life Of Health And Sustainability (LOHAS) →2011年度後期出発
2011年10月募集テーマ: Transnational Program (TNP) →2012年度前期出発

1. 交換留学(学部生、研究生対象)

海外の協定校から留学生を受け入れ、同時に早大生を派遣する制度です。語学能力や成績などの選考条件は厳しいですが、ある程度自由に科目を履修できます。一部のプログラムをのぞいて、早大の所属学部・研究科の学費等を納めることで、派遣先の学費が免除されます。ただし、協定校によってその項目の意味合いや呼び方は異なりますが、College Fee, Technology Fee, Mandatory Fee など、学費以外に現地で別途費用がかかる場合があります。派遣人数は各校あたり、1～3名程度が通常です。多種多様な国の大学が協定校となっています。

2. TSA (Thematic Studies Abroad) プログラム (学部生対象)

「テーマに基づいた学習」を中心にカリキュラムが組み立てられます。現地大学での授業を補助する語学向上のためのサポートが多く存在するのが特徴です（ただし、春から始まるオセアニアのTSAプログラムは、留学当初より通常科目を履修します）。学生は派遣先大学の学費等およびプログラム開発・運営費（1学年期間10万円）を含む「プログラムフィー」を早大に支払うことによって、早大の学費等が免除されます（注¹） 派遣人数はプログラムによって様々です。北米、オセアニア、韓国のプログラムがあります。

3. ISA (Individualized Studies Abroad) プログラム (学部生対象)

交換留学と同様、現地大学の通常カリキュラムの中で、現地のコーディネーターと相談しながら、ある程度自由に科目を履修できるプログラムです。語学力が低い場合、語学の勉強を義務づけられる場合もあります。学生は派遣先大学の学費等およびプログラム開発・運営費（1学年期間10万円）を含む「プログラムフィー」を早大に支払うことによって、早大の学費等が免除されます（注¹） ニュージーランドのプログラムがあります。

*後期募集のみのプログラム

4. ダブルディグリー・プログラム (学部生対象)

¹ 【注意】 ここでいう「学費等」とは、授業料、施設費（教育環境整備費）、実験実習料、演習料、実験演習料、学生図書室費を指しますが、実際に免除となる項目については、所属学部・研究科によって異なります。また、学生健康増進互助会費は免除の対象とはなりません。帰国後に所定の手続きにて返還請求をすることで返金されます。詳しくは帰国後、学生生活課にお問い合わせください。

（１）学年

プログラム出願時および留学期間中を通して、本学の学生（正規課程）として在籍する、学業成績、人物ともに優秀な者。プログラムにより、大学院生、学部生、学年が限定されているものがあります。

*国際教養学部の学生は出発時に３セメスター以上、早稲田大学で履修している必要があります。ただし、交換留学プログラムおよびアメリカの Portland State University (TSA) については、２セメスター以上履修していれば出願可能です。

（２）語学能力（各プログラムで必要とされる語学能力があること）

英語プログラム：要求スコアを超えた TOEFL のオリジナルスコアカード (Examinee's Score Record 2009 年 5 月以降に受験したもの) を提出できることが出願条件です。ただし、TOEFL の有効期限は 2 年間なので、派遣候補大学への出願の際に有効期限が切れる場合は、再受験が必要な場合もありますので注意してください。その際、再受験結果が学内選考出願時の点数を下回ってしまった場合は、派遣候補大学からの受入許可が出ない場合もあります。

非英語プログラム：各種語学能力証明書の提出が求められているプログラムに応募する場合は、要求レベルを超えたスコアカードの原本を提出できることが出願条件になります。

また、一部の非英語プログラムでは語学初級者でも応募可能な語学プログラム (Language Program) があります。

（３）必要とされる GPA

プログラムによっては GPA を要求されます。Waseda-net portal より「成績通知書」を各自確認してください。

学内派遣選考で使用する GPA の計算式は以下の通りです。

（この計算式は留学センターが派遣留学学内選考用に独自に定めたもので GPA 証明書上の GPA とは異なりますので注意してください。）

$$\frac{\{ (4.0 \times A^+ \text{取得単位数}) + (3.5 \times A \text{取得単位数}) + (3.0 \times B \text{取得単位数}) + (2.0 \times C \text{取得単位数}) + (0 \times F, G \text{等単位数}) \}}{\text{総登録単位数 (卒業算入科目として登録した単位数の合計)}}$$

※総登録単位数とは取得単位数と F、G 等となった科目の単位数を合算したものをいう。

成績評価と成績表記の関係は以下の表を参照してください。アジア太平洋研究科の学生も、「派遣留学学内選考で使用する成績表記」を使用して GPA を計算してください。

評価 (素点)	アジア太平洋研究科	派遣留学学内選考で使用する成績表記
100～90	A ⁺	A ⁺ (4.0)
89～80	A	A (3.5)
79～70	79～75 B ⁺	B (3.0)
	74～70 B	
69～60	C	C (2.0)
59～50	F	F [*]
49～0		G [*]

※F と G の範囲は各学部、研究科で異なります。

*学部の 1 年生は、高校の英文成績書 (原本) を提出する必要がありますので、早めに準備してください。

（４）留学中の必要経費の負担

留学中にかかわる費用について、保証人とよく相談し、経済的な裏づけを得てから応募してください。派遣先大学への出願手続においては、留学期間中の費用が準備されていることを証明するために、金融機関の残高証明書の提出が必要となる場合があります (学内での派遣候補者 WEB 発表後、派遣先大学へ実際に願書を送付する手続きの中で求められる場合があります)。

留学プログラム応募の際の注意

1) 選考種別区分と選考優先順

大きく分けると英語プログラムと非英語プログラムの2種類があります。

A. 英語プログラム

WEB 出願と出願必要書類の提出、所属学部・研究科による適性判断（方法は各事務所で異なる）をもとに選考を行います。

B. 非英語プログラム

WEB 出願と出願必要書類の提出、所属学部・研究科による適性判断（方法は各事務所で異なる）とともに面接試験を行います。ただし、韓国の成均館大学の TSA プログラムについては、語学初級者から参加可能なプログラムであり、2011 年 12 月（予定）にレベル分けテストも行われるので、非英語プログラムで成均館大学（TSA）のみに出願する場合には、面接を行いません。

英語プログラムと非英語プログラムは、非英語プログラムを上位志望とし、英語プログラムをそれより下位志望とする場合のみ併願可能です。英語プログラムを第1志望とし、非英語プログラムを第2志望以下とすることはできません。また、1つの派遣先大学に英語プログラムと非英語プログラムが並存する場合には、非英語プログラムの選考が優先されます。非英語プログラムの選考で派遣枠が埋まってしまった場合には、英語プログラムの選考は行われません。以上の条件から最大で7つのプログラムコードまで選択することができます。

2) 選考方法

学業成績（GPA）、語学能力（TOEFL 等の公的試験など）、学習・研究計画書、派遣留学評価シート、所属学部・研究科での適性判断（方法は各事務所により異なる）、面接（非英語プログラムのみ実施 成均館大学（TSA）を除く）を選考要素として総合的に判断し、より総合力が高いと判断された学生から志望順位の高いプログラムの派遣候補者に選出します。

3) 各大学、各プログラムの詳細な調査

1つの大学で複数のプログラムが並存していることがあります。例えば、The Australian National University には、交換と TSA があります。また、高麗大学の交換プログラムには、韓国語で行われるプログラムと英語で行われるプログラムがあります。半期プログラム、長期プログラムによってもプログラムコードが異なります。プログラムの選択をする際には、プログラム内容を含め、コード番号の選択に間違いのないように注意してください。

4) 派遣先から求められる語学コース

学内選考の際に TOEFL の条件を満たしていても、派遣先の大学で語学コースへの参加を求められることがあります。また、非英語圏に留学する場合にも、語学力が十分でないと、派遣先の大学の判断により、派遣先の大学で語学コースへの参加を求められることがあります。その際、語学コースに参加するための費用が、TSA・ISA プログラムに参加する場合に支払うプログラムフィーに含まれていないこともありますので注意してください。交換留学の場合でも、語学コースや特別なコースに参加する場合、早大の学費等の支払いに加えて、現地で別途追加費用の支払いが必要な場合もあります。

5) 派遣留学期間

今回募集するプログラムで留学する場合、留学期間終了の次の学期から早稲田大学に復学することが原則です（留学プログラムの延長は、原則認められていません）。また、特別な事情が考慮される場合を除いて、プログラムにはその期間終了まで参加することが求められます。留学期間中は、原則として早稲田大学での科目履修はできません。本人の事情で途中帰国した場合には、プログラムフィー、早大の学費等は返金されません。

6) TSA・ISA のプログラムフィーに関して

プログラムフィーには、現地での学費、プログラム開発・運営費（1 学年期間 10 万円）などが含まれています（プログラムリストの“Estimated Tuition”に示されている金額）。宿舍費や食費（プログラムリストの“Estimated Room & Board”に示されている金額）、また一部の協定校では設備費やオリエンテーション費等は渡航後にご自身で派遣先大学に支払うことがほとんどですが、いくつかのプログラムでは、プログラムフィーに加えて早稲田大学に納めていただく場合があります。

また、プログラムリストにある現地通貨の金額は、昨年度実績をベースにした目安ですので注意してください。派遣先大学の学費、為替レートの変動などに伴い、次年度には金額が上昇する場合があります。(実際の納入は、大学換算レートにて日本円に換算した金額を留学センターの指定口座に送金いただきます。)

※“Estimated Room & Board”の金額には昨年度実績ベースではないものも含まれています。

7) 交換留学プログラムで留学する場合の費用について

交換留学プログラムに参加する場合、一部のプログラムを除き、早稲田大学での所属学部・研究科の学費等を支払えば、派遣先大学での学費が免除されます。ただし、協定校によってその項目は異なりますが、College Fee、Technology Fee、Mandatory Fee など、学費以外に現地で別途費用がかかる場合があります。その金額は派遣先大学によって異なりますが、場合によって年間 1,000US ドルを超える負担が必要となることがあります。詳細については、留学センターインフォメーションルーム (22 号館 3 階) でご確認ください。

8) 査証 (ビザ) 取得

査証 (ビザ) は渡航先国の目的において定められた入国や滞在に必要な書類の一部であり、各国の移民法に準じて定められております。

査証の取得に関する諸条件をはじめ、その手続き (申請) 方法、必要書類 (申請書等) や申請費用などにおいても全て渡航先国によって異なり、またその条件等は予告無く頻繁に変更されます。

なお、留学先ごとの査証取得の際、残高証明、翻訳証明、銀行口座通帳の現物などの提出を必要とする国もあり、諸手続きの際はそれらの書類を速やかに準備しなくてはなりません。留学を希望する国の大使館や関連ホームページで必ず最新の情報 (必要書類・手続料・申請期間等) を得るようにしてください。また、査証取得の手続きの責任は、全て申請者に委ねられていることをご理解ください。

9) 派遣先大学での科目登録・早大での単位認定

全てのプログラムにおいて、前提とされる科目 (Pre-requisite) を履修していなかったり、履修人数の制限により、派遣先大学での希望の学部での履修が認められなかったり、受講を希望する科目に登録できないことがあります。

プログラムは、皆さんが学ぶに値すると留学センターが判断した内容になっていますが、現地大学で取得した単位が早稲田大学の所属学部・研究科の単位として、自動的に認定されるわけではありません。派遣先大学での取得単位がどれだけ早大での単位として認定されるかについては、各所属学部・研究科の判断に委ねられています。所定の修業期間 (学部は 4 年) での卒業が保証されてはいませんので、事前に所属学部・研究科にもよく相談して、誤解のないようにしてください。

10) 派遣候補者となった後の辞退

決定後に正当な理由なく、辞退することはできません。正当な理由なく辞退した場合、それ以後の留学センター派遣留学プログラムへの応募資格が失われます。

万が一プログラムへの参加が非常に難しい状況となった場合は、なるべく早い段階で、まず留学センターに相談してください。

11) 早稲田大学内選考と派遣先大学からの受入許可

この募集要項は、早稲田大学内での選考についてのものです。この学内選考を経て派遣候補者に選ばれた皆さんは、早稲田大学から推薦された学生として、派遣先大学に応募する資格を得たこととなります。しかしながら、それは派遣先大学からの受入許可を 100%保証するものではありません。実際に留学できるかどうかは、派遣先大学の選考によって最終決定がなされますので注意してください。

また、派遣候補者に選ばれた後においても、学業不振、書類提出の締め切りを守らない場合、必要な手続きを行わない場合や、オリエンテーションへの出席が著しく悪い場合など、留学をするにふさわしくないと留学センターが判断した場合は、渡航後であっても、留学中止の勧告を行うことがあります。留学センターからの案内には十分に注意してください。

12) 早稲田大学義務付け海外旅行保険への加入

留学センターの長期派遣留学プログラム (半期含む) に参加する学生は、いかなる理由に関らず本学の指定する海外旅行保険への加入が義務づけられています (一般的な保険料に比べ割引率が高く、12ヶ月で108,230円/2011年度参考)。しかし、派遣先大学においても健康保険や医療保険への加入を求められる場合には、早稲田大学義務付け保険加入にかかわらず必ず現地保険への加入が必要で

す。派遣国、派遣先大学や期間によっても異なりますが、留学期間中の保険料として小額な場合で3万円から、高額な場合だと18万円程度必要な場合があります。

*精神的疾患、歯の治療費、また持病と見なされる場合(既往症)には早稲田大学が加入を義務付けている保険の補償対象外となります(その他の補償対象の有無は保険補償規定に準じます)。

*本学義務付け保険の保険料は、前年度における事故損害件数や補償額により変動します。保険料のお支払いについては、派遣手続き開始後にすみやかにお支払いをいただく必要がありますので、あらかじめご了承ください。

13) 海外携帯電話レンタルサービスへの加入

留学先における日常的なリスクに対応するために、派遣学生全員へ留学センターが包括契約をする海外携帯電話レンタルサービスに必ず加入いただきます。初期設定費用、留学期間中の貸出料は、全て無料となります。お支払いいただくのは、ご本人が使用した通話料および着信料*(ショートメール料金含む)となります。

*着信料は国により異なります。

14) 併願に関して

所属学部・研究科の箇所間協定によるプログラムとの併願は認められません。ただし、留学センターへの書類提出締切日(6月3日(金))までに、その結果が判明する場合はこの限りではありません。つまり、WEB出願の段階では併願しておいて、その後箇所間協定によるプログラムに選出された場合には、書類提出を行わずに出願を取り下げることが可能です。

15) 2次募集に関して

応募状況によっては、7月6日(水)の候補者発表以降に、留学センターが選別したプログラムのみについて、2次募集を行う場合があります。ただし、今回の募集で決定した派遣先を辞退し、2次募集へ応募することはできません。

16) オーストラリアのプログラムに関して

日本国籍以外の学生のオーストラリアへの留学査証(ビザ)申請*には、各協定校が要求する、IELTSやTOEICなどTOEFL以外の語学試験のスコアをあらかじめ取得していることが条件となっています。したがって、協定校の要求TOEFLスコアをクリアして、学内の選考を通過し本学の派遣候補者となった場合でも、その後TOEFL以外の指定試験を受験して所定の要求スコアを取得することが必要です。指定試験の所定スコアをクリアしないとビザの申請をすることができず、結果的に渡航不可となりますので十分ご注意ください。

なお、ビザ申請についての情報は頻繁に変更されますので、オーストラリアの協定校へ出願される場合には最新情報をご自身でも常に取得するように努めてください。

*オーストラリアのビザ申請詳細ウェブサイトをご参照ください。<http://www.immi.gov.au/>

17) 前期のみの半期留学をする場合

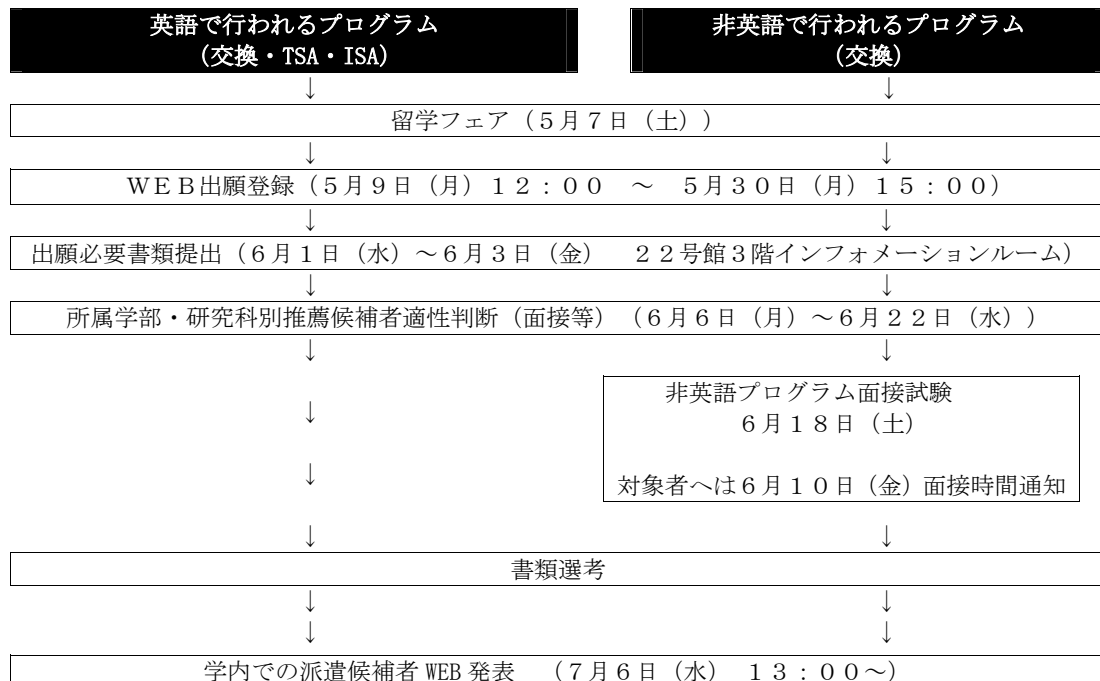
通年科目が設置されている学部・研究科に属する学生が前期留学をする場合、科目登録ができず、帰国後の後期の授業を受けられない可能性があります。その他、専門演習(ゼミ)の登録や履修ができない等、支障が出る可能性がありますので、所属学部・研究科に問い合わせ、よく確認のうえ、出願してください。

1. 説明会・選考日程

日程	時間	内容・会場
5月7日(土)		留学フェア：国際会議場1階井深大記念ホール
5月9日(月) 12:00～ 5月30日(月) 15:00まで	左記時間に注意	WEB出願登録(Waseda-net portalにて) 注) ・最終日は大変混み合い、締め切り時間内に受け付けができず、出願ができないことがあります。早めに希望校を検討して登録するようにしてください。 ・WEB上でTOEFLスコアを入力するため、TOEFLオリジナルスコア(原本)は必ずこの期間までに取得しておいてください。iBT受験者はオンライン上で確認できるスコアをプリントアウトして提出していただいてもかまいません。ただし、後日スコアカードの原本を提出していただく必要があります。 ・WEB上で登録されたTOEFLスコアと後日提出されるTOEFLオリジナルスコア(原本)に記載されたスコアが異なっていた場合、出願は無効となりますのでご注意ください。
6月1日(水) ～ 6月3日(金)	12:00 ～ 17:00	出願必要書類受付(早稲田キャンパス22号館3階インフォメーションルーム) 注)最終日は大変混み合い、締め切り時間内に受け付けができず、出願ができないことがあります。早めに提出するようにしてください。
6月6日(月) ～ 6月22日(水)	所属事務所より 後日連絡	所属学部・研究科別推薦候補者適性判断(面接等) 内容は各所属学部・研究科によって異なります。
6月18日(土)	6月10日(金) に連絡	非英語面接試験 (成均館(TSA)を除く非英語プログラム全応募者対象)
7月6日(水)	13:00～	選考結果発表(Waseda-net portalにて)
後日連絡	後日連絡	派遣候補者決定直後オリエンテーション *当日は出欠を確認します。授業などで事前に出席できないことがわかっている方は、out-cie@list.waseda.jpまでご連絡ください。

*注意：ポータランド州立大学(ロハス TSA プログラム)の選考日程は、上記とは異なります。
P.10～P.11を確認してください。

2. 選考の流れ



3. 出願方法

1. WEB 出願登録（5月9日（月）12：00～5月30日（月）15：00）

Waseda-net portal (<http://www.wnp.waseda.jp/portal/portal.php>) 「国際交流・留学」の「派遣留学-WEB 出願登録」から出願者本人が、WEB 出願登録をしてください。*p.11「WEB 出願登録はこちらから」をご参照ください。

具体的入力が必要な下記項目①～⑤を事前に準備しておく、スムーズな出願登録手続きが行えます。

- ① **個人情報**
氏名、連絡先等。
- ② **志望プログラム**
 - ✧ 英語プログラム、非英語プログラムの全てのプログラムから、最大で7つのプログラムコードまで選択することができます（すべて TSA もしくは、すべて交換留学を選ぶことも可能）。
 - ✧ 非英語プログラムと英語プログラムを併願する場合には、非英語を英語よりも上位志望としてください。
 - ✧ あらかじめ志望プログラムを確定したうえで、検索画面から選択して、「選択確定」ボタンで確定してください。同一大学で複数のプログラムコードがある場合がありますのでご注意ください。
- ③ **語学能力証明**
 - ✧ 英語によるプログラムに出願の場合は、希望するプログラムの要求スコアを超える TOEFL の iBT, CBT, PBT いずれかのオリジナルスコアカード (Examinee's Score Record)。TOEFL-iBT については、WEB 画面で確認できるスコア表のプリントアウトでも受け付けます。ただし、後日そのプリントアウトと同一のオリジナルスコアカードを必ず提出してください。
 - ✧ TOEFL-ITP で出願可能なプログラムのみを希望する場合には、TOEFL-ITP のスコアカードのみの提出でかまいません。ただし、iBT, CBT, PBT いずれかのオリジナルスコアカード (Examinee's Score Record) が必要なプログラムも併願している場合には、両方のスコアカードが必要です。TOEFL-ITP のみの提出の場合、CBT, PBT, iBT 要求プログラムは選考対象外となります。
 - ✧ 非英語によるプログラムに出願する場合は、今回募集対象となる言語種別を選択してください（複数選択も可）。
 - ✧ 非英語によるプログラムに出願の場合は、語学学習状況・学習計画報告に語学学習歴（学習年数〇年、学習機関〇〇、週〇時間〇コマ、のべ学習時間〇時間）と、現在および今後の学習計画、その他語学学習や能力に関する特記事項があれば記入してください。
 - ✧ 当該言語を指導してくれた学内教員またはその言語に堪能な教員による語学能力証明書を必ず提出してください（成均館大学（TSA）を除く）。語学能力証明書は留学センターホームページよりダウンロードできます。語学能力証明書を提出する場合は留学センター指定の封筒を使用し、教員による厳封のうえ提出してください。複数の言語のプログラムに出願する場合はそれぞれの言語の語学能力証明書を提出してください。
 - ✧ 応募プログラムが、母国語のプログラムなどの理由で、語学能力証明書を提出できない場合には、その理由を証明書欄に記述して、提出してください。
- ④ **学習・研究計画書**
 - ✧ 和文と同内容を英語にて、制限字数内で記入してください。非英語プログラムのみを希望する場合は、英文による記入は不要ですので、「非英語プログラムのみに出願」と記入ください。国際教養学部 SP2 の学生で非英語プログラムのみに出願する場合は、英語で学習・研究計画書を作成してください。

※下記の表を参照して、出願プログラムに必要な言語で書かれた学習・研究計画書を提出してください。

	英語プログラム	非英語プログラム
国際教養学部 SP 2 生	英文	英文
上記以外	英文・和文	和文

次の問題に対して、自分自身でよく考え、自らの言葉で記述しなさい(和文・英文ともに、細かな文法的なミス等は、採点の要素とはしないので、必ず自分自身で書き上げる事)。(1)、(2)、(3)については、出願者全員必須回答。(4)については、第1志望単願の場合は回答不要。複数のプログラムコードを選んでいる学生は必ず回答のこと。

- (1) 現在早稲田で学んでいること、これから学びたいことは何ですか？今まで履修した、もしくは今後履修したい科目を挙げ、その理由も含めて300～400字で記述しなさい。
- (2) 派遣留学を通して学びたい分野、派遣先で得たいことは何ですか？授業以外で学びたいことも含めて300～400字で記述しなさい。
- (3) 第1志望として選んだプログラムコードの志望理由について300～400字で述べなさい。
- (4) 複数のプログラムコードを選んでいる場合は、第1志望以外のプログラムコードの志望理由について、合計で300字～800字で述べなさい。

英文の字数制限は、和文300～400字の場合、150～200 words程度
和文300～800字の場合、150～400 words程度とする。

◇ 学習・研究計画書は派遣候補先大学決定後に必要に応じて先方に直接送付されることがあります。あらかじめご了解ください。

⑤ 登録完了確認、申請内容の確認メールが5分以内に送信されます。

◇ 申請内容の確認メールの内容に間違いがないかを確認してください。メールの設定によっては、文字化けする場合がありますが、こちらに登録されたデータ上は問題ありませんのでご安心ください。

WEB 出願内容の確認に関して

志望プログラムの確認

志望プログラムに誤りがないか、十分に確認してください。同一大学でも英語プログラムと非英語プログラム、交換と TSA が実施されている場合があります。WEB 出願締め切り後の変更、修正はできません。

2. 出願必要書類提出 (6月1日～6月3日)

早稲田キャンパス 2 2 号館 3 階 留学センターインフォメーションルーム

西早稲田 (旧大久保)・所沢・本庄・北九州キャンパスの学生は所属事務所に提出することも可能
必要書類をすべて 下記①～⑥の順にそろえて提出してください。また、提出書類の紙サイズは、可能な限り A4 サイズでご用意ください。なお、一旦提出された書類の返却は行いませんので、提出前に、自分用の控えを忘れずに取ってください。

*2012 年前期派遣選考より成績証明書の提出が不要になりましたが、学業成績は選考の際に学内データベースにて確認しており、選考要素の一つとなります。

① 大学派遣留学プログラム誓約書 3 通 (原本 1 通とコピー 2 通)

◇ この要項に添付されているもの、もしくは留学センターの HP からダウンロードした所定の誓約書を使用して、その内容について同意できる場合は、必要事項を記入して提出してください (保証人の方の署名捺印も必要。外国人学生の場合は、サインでも可とします)。
学生本人、保証人の方両方の署名捺印が完了した後にコピーをとり原本とともに提出し

てください。

②派遣留学評価シート原本2通

WEB 出願締切の5月30日（月）までに2名の教員から得てください。

- ◇ 5月30日（月）までに教員から得られなかった場合、6月1日（水）～3日（金）に提出書類として、提出できなかった場合には、選考対象外となりますので、注意してください。
- ◇ この要項に添付の派遣留学評価シートをコピー、もしくは、留学センターのHP上にある所定書式をダウンロードして使用してください。2名の教員から得てください。厳封用の封筒は必ず留学センター指定のものを使用してください。封筒は22号館3階インフォメーションルームで配布します（西早稲田（旧大久保）、所沢、本庄、北九州キャンパスの学生は、所属事務所でも入手可能です）。
- ◇ 授業を履修している教員や、あなたのことを良く知っている教員（大学で授業を受けている先生等）に依頼をしてください。
- ◇ 国際教養学部の学生は、学部の規定により、本評価シートを依頼できる教員が次の通り定められていますので注意してください。
 - ・ 国際教養学部にて指定されているアカデミックアドバイザー教員：1通
 - ・ その他の国際教養学部専任教員：1通
 - * 教員に本評価シートを依頼する際には、（1）Waseda-net portal より「授業」→「進級・卒業」→「成績照会」から最新の成績をプリントアウトしたもの、（2）前項1. ④の「学習・研究計画書」を提出してください。
 - * 各自に割り当てられたアカデミックアドバイザーが不明の場合は、Waseda-net portal のお知らせで確認することができます。
 - * Intensive English、Tutorial English、Academic Writing、日本語科目を担当している教員はこの範囲外です。国際教養学部専任教員の一覧は、Course N@vi で確認することができます。
 - * 本選考後、プログラムによっては、本評価シートとは別に派遣先機関宛の推薦状を提出する必要がある場合があります。その際も、基本的に上記のアカデミックアドバイザー教員に依頼することになります。

③語学能力証明書 原本1通

- ④留学先の授業が英語のプログラムを希望する場合：
 - 応募時に TOEFL のスコアカード (Examinee's Score Record/2009年5月以降受験分) を提出してください。
 - * TOEFL-iBT については、WEB 画面で確認できるスコア表をプリントアウトしたものでも受け付けます。ただし、後日その打出しと同一のオリジナルスコアカードを必ず提出してください。

TOEFL スコアの扱いについて

1. 各大学の要求点について
各大学の要求スコアを超えるスコアを取得していることが必要です。
2. 有効期限について
2009年5月以降受験分が有効となります。
3. スコアカードは原則として返却いたしません。

- ⑤非英語プログラムを希望する場合（韓国、成均館大学の（TSA）を除く）：
 - ◇ 教員による語学能力証明書は全員必ず提出してください。評価シートで依頼した教員と同じ教員でも問題ありません。
 - ◇ 教員による語学能力証明書を提出する場合には、必ず教員に留学センター指定の厳封用封筒（派遣留学評価シート用と同じ）で厳封してもらい、未開封の状態で留学センターに提出してください。
- ⑥客観的な語学能力証明として、できる限り「各種語学能力試験等公的試験等のスコアやレ

- ベルの試験結果」(韓国語能力試験など)を提出してください。
◇ ⑤と⑥両方を提出してもかまいません。

4. TSAプログラム(原則先着順受付) ロハスプログラム@ポートランド州立大学応募方法について- 学部生対象 -

ポートランド州立大学では、以前より3月から始まるTSAプログラムを実施しており、2012年3月も行う予定です(募集は2011年秋)。ここでは2011年9月開始の「Sustainability and the Environment」をテーマにしたTSAプログラムの概要と応募方法について、ご説明します。

プログラム概略

- プログラム期間：2011年9月下旬～2012年6月上旬
- テーマ： 「Sustainability and the Environment」
「Life of Health and Sustainability (LOHAS=ロハス)」

プログラム概要：

アカデミック・イングリッシュコースで英語力の強化をはかりながら、米国内でも有名なポートランド州立大学の環境問題と環境・ライフスタイルの持続可能性をテーマにしたカリキュラムを受講します。大学を通して様々な地域活動にも参加が可能です。

- 募集枠：40名(最小催行人数：10名)
- TOEFL：プログラム開始時においてTOEFL460点相当(CBT140/iBT48)が必要
出願時にはスコアカードがなくてもかまいませんが、手続上2011年7月中には要求スコア以上のスコアカードを提出いただきます。
- 対象学生：全ての学部の正規学生
*国際教養学部の2011年4月入学生は学部規定により応募できません。

応募方法

その他の前期募集とは、別の方法で行います(併願はできません)。学ぶテーマが明確で必修科目も比較的多く設定されていることから、今回は本プログラム単願で出願する学生のみを受付けます。

出願手順

- ①WEB 出願期間：2011年4月15日(金) 12:00～5月6日(金) 15:00まで
申請フォーム名：2011年ロハスTSAプログラム出願登録(内容：学習・研究計画書)
- ②書類提出：2011年5月11日(水)～13日(金) 12:00～17:00
提出場所：22号館3階インフォメーションルーム
*西早稲田(旧大久保)・所沢キャンパスの学生は、所属学部事務所への提出も可とします。
- ③提出書類
a). 大学派遣留学プログラム誓約書3通(原本1通とコピー2通)
b). TOEFLオリジナルスコアシート
*出願時にはスコアカードがなくてもかまいませんが、手続上7月中旬には要求スコア以上のスコアカードを提出いただきます。
- ④結果発表：5月18日(水)正午
*募集枠に余裕がある際には2次募集を行います。その場合はWaseda-net portalのお知らせ画面で詳細を連絡します。

5. お問い合わせ先

早稲田大学留学センター (早稲田キャンパス22号館)

〒169-0051 新宿区西早稲田1-7-14-3F

TEL: 03-3208-9602 FAX: 03-3203-6405

E-mail: out-cie@list.waseda.jp

WEB 出願登録は、こちらから

Waseda-net portal 画面

The screenshot shows the Waseda-net portal interface. At the top, there's a navigation bar with 'Waseda-net portal' logo, language selection (日本語), and a 'GO' button. Below this, there are user-specific options like '大隈 花子さんのページ' and '学生' dropdown. The main content area is divided into sections: 'Top Page' with a list of links (メール移行, 授業, 学生生活, 国際交流・留学, キャリアコンパス, 公開行事・講演会, 稲門コミュニティ, Profile, システム・サービス), a search box, and a central news section. A callout box with the text 'ここをクリック' points to the '国際交流・留学' link. The right sidebar contains a list of links including '各種規約', '日程', 'FAQ', 'マニュアル', 'あなたと情報セキュリティ', 'MNC情報化推進シスター', '学術情報検索システム', 'カテゴリー一覧', '学生の皆さんへの告示', '学生生活Q&A', '公益通報・相談受付窓口', '研究推進部ヘルプデスク', 'ITセンター ヘルプデスク', and 'English'. The footer contains copyright information for Media Network Center, Waseda University 2002-2011.

派遣留学出願登録は、このWEB登録のほかに、出願必要書類提出（6月1日～6月3日）が必要です。

選考結果の発表もこの画面で行います。

出願時のチェックリスト

チェックリストで必要手続、書類に漏れがないかを確認しましょう。
このリストは提出の必要はありません。各自で活用してください。

WEB 出願登録 (5月9日(月) 12:00 ~ 5月30日(月) 15:00)

- 募集要項を見たら志望大学の選択を開始し、一度は登録画面を見てみましょう。
- Waseda-net portal 画面にて、5月20日を目処に一度はWEB出願を試してください。
「登録」は何度でも可能です。
- プログラムリストを含め、出願前に最新情報を留学センターのHPで再確認しましたか？
- 最新の「登録」に対する「登録内容確認のメール」の内容に間違いがないかをよく確認してください。

出願期間：6月1日(水) ~ 6月3日(金) 12:00-17:00

提出場所：22号館3階 留学センターインフォメーションルーム

全員提出必須：

- ①大学派遣留学プログラム誓約書3通(原本1通、コピー2通)
- ②教員の派遣留学評価シート2通
*留学センター指定の厳封用封筒で必ず厳封のうえ、厳封状態で提出のこと。

英語プログラムへの出願者は提出必須：

- ③TOEFL PBT, CBT, iBT のオリジナルスコアシート (Examinee's Score Record)
*iBT はインターネット上で閲覧できるスコアをプリントアウトしたものでもかまいますが、後日必ず同一のオリジナルスコアカードを提出してください。

非英語プログラムへの出願者は提出必須：

- ④教員による語学能力証明書(派遣留学評価シートと同様に留学センター指定の封筒を使用)
*非英語プログラムの中で、成均館大学(TSA)のみを希望する場合は不要

非英語プログラムへの出願者は提出任意(できるだけ提出してください)

- ⑤出願プログラムで使用する言語の語学能力証明書(ハングル能力検定等)
*提出必須のプログラムに出願する場合は、要求レベル以上のものを提出のこと

①~⑤のうち、自分の志望するプログラムに提出する必要がある書類を、なるべくA4サイズに統一し、①~⑤の順にそろえて提出してください。